

## 卒業論文

### 大学における教師から学生へのセクシュアル・ハラスメントを防ぐには ～ハラスメント防止ガイドラインの考察～

早稲田大学政治経済学部国際政治経済学科  
映像ジャーナリズム・高橋恭子ゼミナール  
4年勝又絵里佳

## 概要

セクシュアル・ハラスメント、通称“セクハラ”は、社会に認知され、度々問題となり報道されている。メディアの影響もあり、職場にて男性社員が女性社員を対等な存在であるとみなさないことから起こりうる性的な言動というイメージが多いだろう。

しかしセクシュアル・ハラスメントが起こるのは職場だけではない。教育現場にて、教員から学生へ、という構図から起こるセクシュアル・ハラスメントが後を絶たない。本論文では、大学という教育現場にて最も多いケースである、“男性教員から女子学生に対して起こるセクシュアル・ハラスメント”に注目し、どのようにしてセクシュアル・ハラスメントが起こるのかを報道やインタビューから考察する。また、セクシュアル・ハラスメント対策のために設けられているガイドラインを分析し、問題点を考察する。